

<スイートプロジェクトで、ユーザーからの入力情報を検証する方法>

注)このドキュメントは、*InstallShield 2013 Premier Edition* を基に作成しています。*InstallShield 2013* 以外のバージョンでは設定名などが異なる場合もあります。

概要

スイートインストーラーのダイアログで、シリアル番号の検証などユーザーからの入力情報を検証してダイアログの制御を行う場合、検証を行う外部 DLL の作成、スイートプロジェクトでのコントロールの追加、イベントの設定などが必要となります。

この記事では、簡単な足し算の結果を検証するプログラムを利用して、ユーザーからの入力情報を検証し、結果が正しかったときだけ、ダイアログの「次へ」ボタンを有効化する方法を紹介します。

A. ユーザーの入力情報を検証する DLL ファイルを作成する

ユーザーからの入力情報を受け取り、受け取った情報を検証するDLLファイルを作成します。

本記事は、開発元から公開されている以下の記事を元に作成していますので、こちらに含まれるサンプルファイルを使用します。

Validating User Input in a Suite Project

<http://blogs.flexerasoftware.com/installtalk/2012/03/validating-user-input-in-a-suite-project.html>

サンプルDLLおよびサンプルコードは、以下より入手できます。

SuiteCalc.zip (<http://blogs.flexerasoftware.com/files/SuiteCalc.zip>)

サンプルファイル SuiteCalc.dll には、VerifySum 関数が定義されています。この VerifySum 関数は、Addend1 プロパティ、Addend2プロパティ、Sum プロパティの値を読み込み、Addend1 プロパティと Addend2 プロパティの加算結果が Sum プロパティの値と一致するかを検証します。値が一致した場合には、Correct プロパティに「Yes」を格納し、一致しなかった場合には「No」を格納します。プロパティは数値を格納できないため、文字列のYes/No を格納しています。



● **スイートインストーラーのウィザードページ(ダイアログ)から呼び出すDLL の作成**

スイートインストーラーからプロパティの受け渡しなどを行う DLL の作成に関しては、以下もご参照ください。

Calling a Function in a DLL from a Wizard Page or Window in a Suite Installation

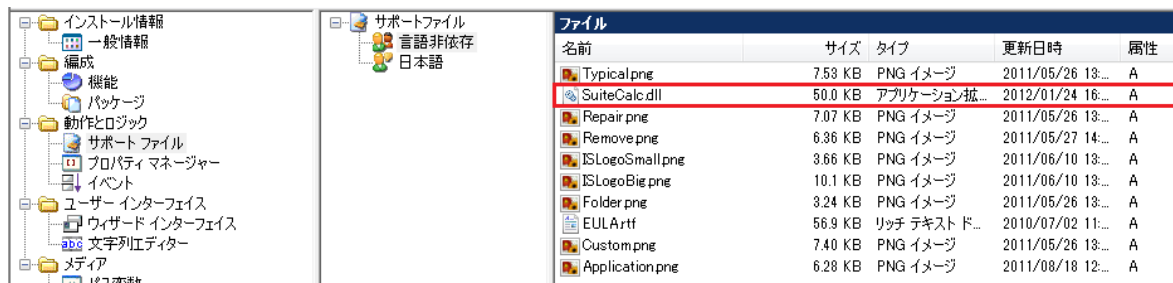
<http://blogs.flexerasoftware.com/installtalk/2011/12/calling-a-function-in-a-dll-from-a-wizard-page-or-window-in-a-suite-installation.html>

B. ウィザードページで、コントロールの追加と DLL 検証を設定する

ウィザードページの「InstallationWelcome」にユーザーからの入力情報を取得するテキストボックスコントロールを作成します。テキストボックスに入力された値を Addend1、Addend2、Sum プロパティに格納し、コントロールのイベントで SuiteCalc.dll の VerifySum 関数を実行します。

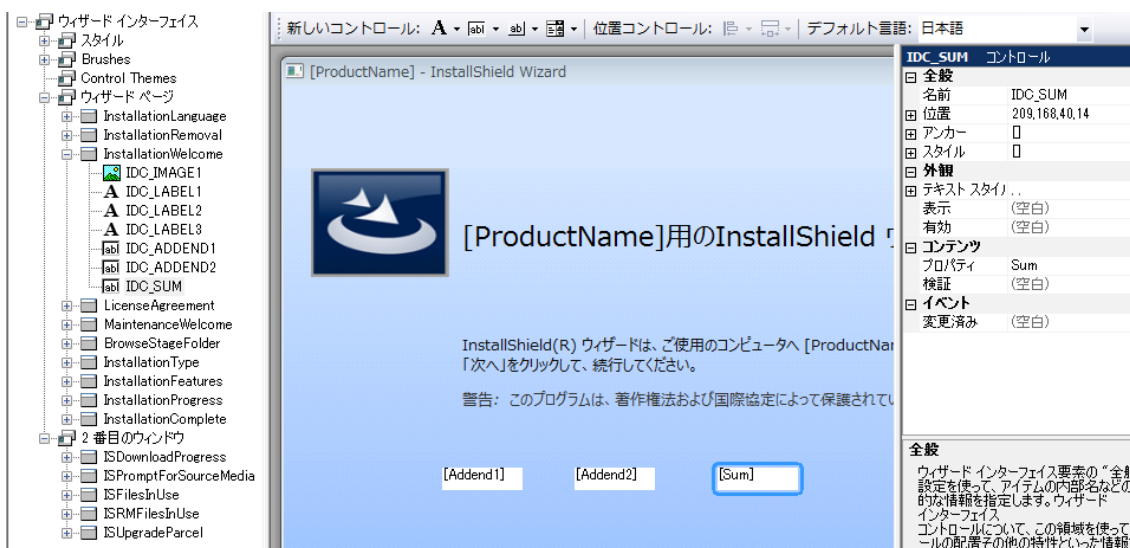
VerifySum 関数は、Addend1 プロパティと Addend2 プロパティの加算結果が Sum プロパティの値と一致した場合には、Correct プロパティに「Yes」を格納し、一致しなかった場合には「No」を格納します。Correct プロパティが「Yes」のときには「Correct!」と書いたラベルを表示し、「No」のときには「Wrong」と書いたラベルを表示します。

1. 新規にスイートプロジェクトを作成します
2. [動作とロジック] - [サポート ファイル]ビューの[言語非依存]ノードで、手順 A で作成した「SuiteCalc.dll」を追加します

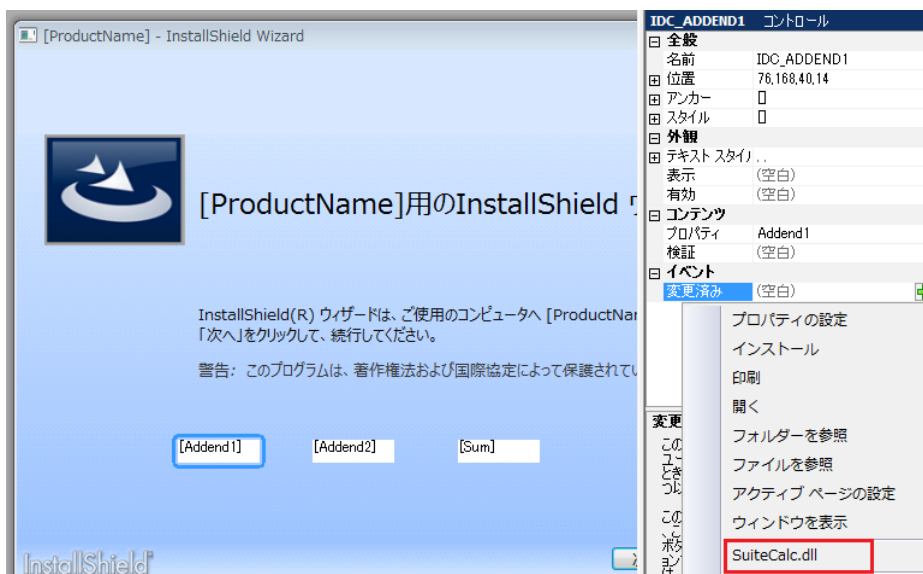


3. [ユーザー インターフェイス] - [ウィザード インターフェイス]ページを表示します
4. ウィザードページの「InstallationWelcome」を選択して、テキストボックスを 3 つ追加します。それぞれ名前とプロパティを、以下のとおり設定します

名前	プロパティ
IDC_ADDDEND1	Addend1
IDC_ADDDEND2	Addend2
IDC_SUM	Sum



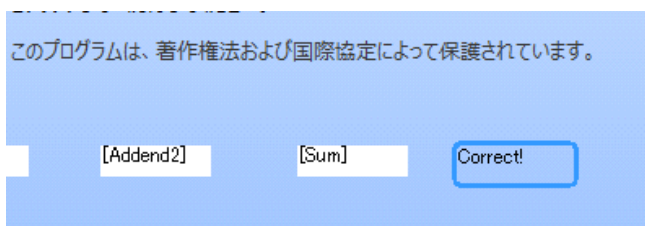
5. さらに、手順 4 で作成したそれぞれのテキストボックスで [イベント]—[変更済み]の[+]ボタンをクリックし、SuiteCalc.dll を選択します。「拡張アクションを構成」画面で「VerifySum」関数を選択します



※IDC_ADDEND1、IDC_ADDEND2、IDC_SUM すべてのテキストボックスコントロールに、イベントの設定を行います

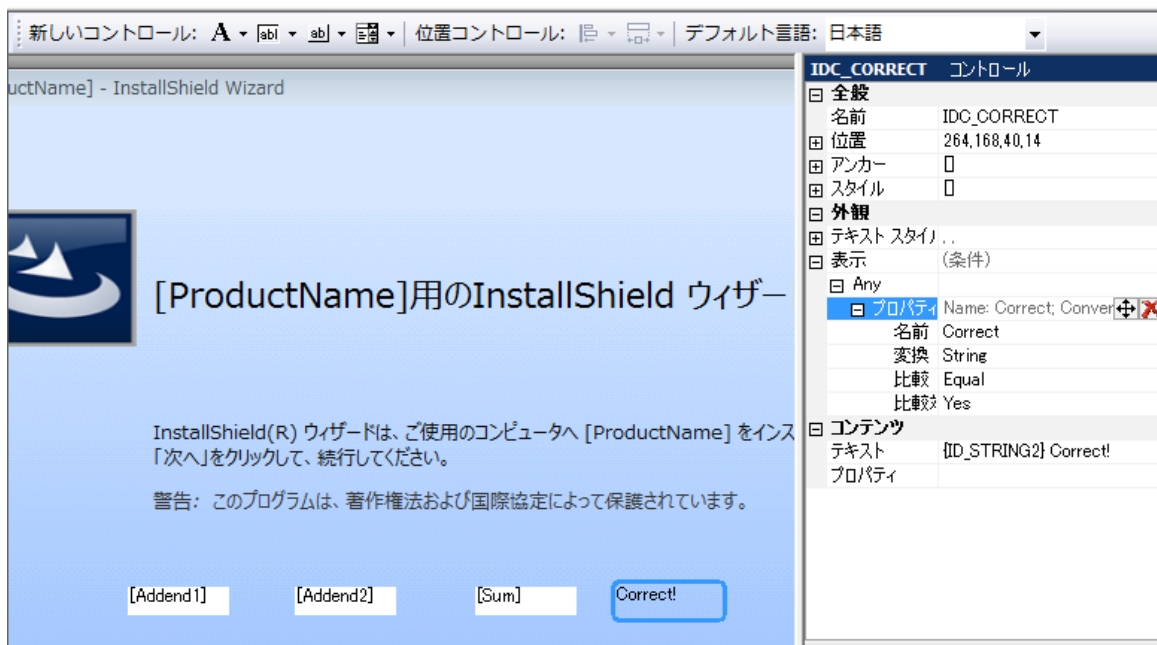
6. 次に計算結果が正しかったときに表示するラベルを追加します

名前	テキスト
IDC_CORRECT	Correct!



7. IDC_CORRECT ラベルで[表示]の[+]ボタンをクリックして条件グループを追加します。追加された Any の横の[+]ボタンをクリックして、[プロパティの比較]を選択し、以下の設定を行います

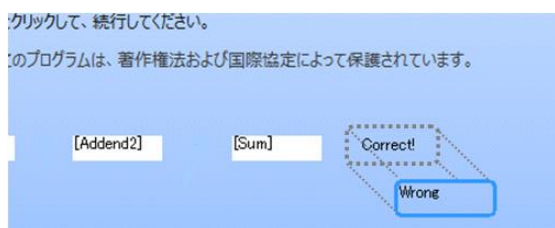
名前	変換	比較	比較対象
Correct	文字列(String)	等しい(Equal)	Yes



※「VerifySum」関数が、Correct プロパティに「Yes」をセットしたとき、IDC_CORRECT ラベルが表示されます

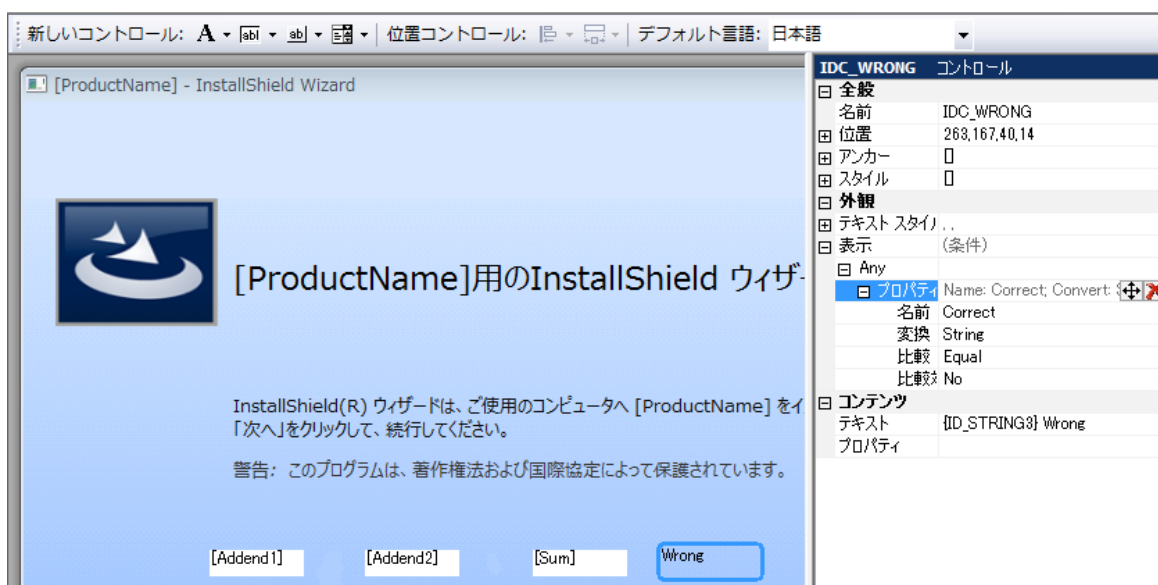
8. さらに結果が間違っていたときに表示するラベルを手順 6.7 と同じ手順で追加します。IDC_WRONG ラベルは、実際には IDC_CORRECT の上に重ねて配置します

名前	テキスト
IDC_WRONG	Wrong



9. IDC_WRONG ラベルで[表示]の[+]ボタンをクリックして条件グループを追加します。追加された Any の横の[+]ボタンをクリックして、[プロパティの比較]を選択し、以下の設定を行います

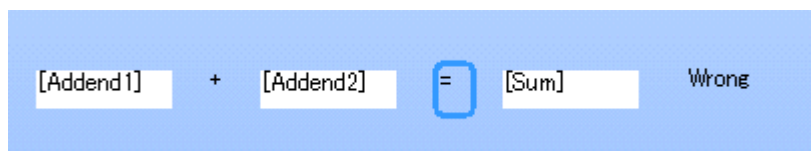
名前	変換	比較	比較対象
Correct	文字列(String)	等しい(Equal)	No



※「VerifySum」関数が、Correct プロパティに「No」をセットしたとき、IDC_WRONG ラベルが表示されます

10. 「+」と「=」のラベルを作成します

名前	テキスト
IDC_PLUS	+
IDC_EQUALS	=



11. ビルドして実行します

足し算の結果が正しい場合には IDC_CORRECT ラベルのテキスト「Correct!」が表示され、間違っている場合には IDC_WRONG ラベルのテキスト「Wrong」が表示されることが確認できます

